

論壇

同じことをすれば安心

以前にこの欄で紹介したかもしれないが、興味深い経済学の調査を取り上げたい。多くの人に、なぜ省エネをするのかという質問をする実験だ。第一の理由は、省エネが電気代などの節約になるからだというものだ。金銭的動機という。第二の理由は、省エネによって社会全体の温暖化ガスの排出が減るからというものだ。社会的動機である。第三の理由は、省エネはそもそも正しい行為だからというものだ。道徳的あるいは倫理的動機だ。そして第四の理由は、皆が省エネしているので自分もそう

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

する、というものだ。群衆行動的な動機というものだ。

この四つの動機の中でどれがもっとも強く働くのか、読者の皆さんには答えが予想できるはずだ。圧倒的に群衆行動的な動機が強く働くという。人間はやはり群れの動物なのだ。皆がやっていることと同じことをしていれば安心である果を持つ。

「群衆行動」に基づく社会変革

それが社会全体の安定性につながるのだ。こうした人間の行動の特徴は、社会を改善する上で重要な意味を持つ。社会的に好ましいことをより多くの人が実行するように仕向けることで、それを社会全体としての群衆的行動に結びつけること

ができる。

例えば、健康増進を考えてみよう。適度な運動のために公園を歩くと朝のラジオ体操の活動に参加する、定期的に健康診断を受けるようにする。こうした行動は住民の健康維持に有効であると同時に、地域全体の医療費を下げる効果を持つ。

女性活躍へ効果的手法

群衆的な行動原理を利用した社会の変革は、健康増進以外のさまざまな分野で利用可能だ。いま政府が進めている女性の活躍の推進などもその例としてあげられる。より多くの企業が女性の幹部を増やし、女性の採用を増やし、女性の働きやすい勤務体制を敷く。子育て支援のため、保育施設をもっと充実させる。

政府はこうした政策を推し進めようとしている。短期間でなかなか十分な成果が実現できるか難しい面もあるが、重要なことはこうした動きを着実に進めていくことだ。多くの企業で女性の幹部が増え、より多くの企業が女性の採用に積極的になれば、そのような行動を取らなければいけないと考えられる経営者も増えるだろう。女性の活躍が社会の中で当たり前になることとして広がるのが、女性の活躍を推進する最も効果的な手法である。

こうした群衆行動を起こす上で、地域というのは重要な場である。国というのでは少し大きすぎるが、地域であれば周囲の人の行動や考え方がよりよく見えるからである。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。